

## 第 25 回 金属・無機材料技術専門委員会報告

今年度、第 3 回目の委員会が Web 会議形式により開催された。

鉄鋼、非鉄、窯業及び溶接関連の JIS 改正 13 件（内、鉄鋼連盟から 12 件）が審議され、全 13 件が承認された。

1. 日時：2020 年 12 月 16 日（水）10:00～12:00

2. 場所：Web 会議

### 3. 議題

#### 3.1 改正案の審議：13 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① JIS A 5523 溶接用熱間圧延鋼矢板
- ② JIS A 5528 熱間圧延鋼矢板
- ③ JIS G 3105 チェーン用丸鋼
- ④ JIS G 3108 みがき棒鋼用一般鋼材
- ⑤ JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼
- ⑥ JIS G 3313 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
- ⑦ JIS G 3441 機械構造用合金鋼鋼管
- ⑧ JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管
- ⑨ JIS G 3445 機械構造用炭素鋼鋼管
- ⑩ JIS G 3466 一般構造用角形鋼管
- ⑪ JIS G 4801 ばね鋼鋼材
- ⑫ JIS G 4804 硫黄及び硫黄複合快削鋼鋼材
- ⑬ JIS Q 1013 適合性評価－日本産業規格への適合性の認証－分野別認証指針（鉄鋼製品第 1 部）

### 4. 委員構成

委員長：木村（物質・材料研究機構）

委員：山口（九州工業大学）、廣本（物質・材料研究機構）、寺澤（鉄鋼連盟）、  
須山（日本ファインセラミックス協会）、天谷（日本アルミニウム協会）、  
種物谷（高圧ガス保安協会）、河村（日本マグネシウム協会）、河合（自動車技術会）、  
磯（日本電機工業会）、岩崎（ステンレス協会）、組田（日本建設業連合会）、  
吉田（建材試験センター）、井上委員（日本産業機械工業会）

事務局：内藤、中畑、大谷（経済産業省）

鉄鋼連盟からの説明者：山本、玉田、楠野、木村

### 5. 議事概要

#### 5.1 JIS 改正案の審議

木村委員長の議事進行により、大きな問題なく審議が進められた。全 13 件が一部修正を行うことを条件に承認された。鉄連 JIS の審議の中で、規定外合金元素を添加した場合の報告規定に関して質疑があった。注文者は、製造業者が意図的に添加した元素について報告を求めることができる旨を規定することを、今後、原案作成団体及び業界全体において検討することとなった。

## **5.2 今後の開催予定**

次回（第 26 回）委員会及び次々回（第 27 回）委員会は年度内に Web 会議で行う予定。第 26 回の開催日程は、2 月 3 日。

## 第 26 回 金属・無機材料技術専門委員会報告

今年度、第 4 回目の委員会が Web 会議形式により開催された。

鉄鋼、非鉄、窯業及び溶接関連の JIS 改正 14 件（内、鉄鋼連盟から 7 件）が審議され、全 14 件が承認された。

1. 日時：2021 年 2 月 3 日（水）14:00～16:00

2. 場所：Web 会議

### 3. 議題

3.1 改正案の審議：14 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① **JIS G 0431** 鉄鋼製品の雇用主による非破壊試験技術者の資格付与
- ② **JIS G 0803** 溶接鋼管溶接部のフィルム式放射線透過検査方法
- ③ **JIS G 0804** 溶接鋼管溶接部のデジタル式放射線透過検査方法
- ④ **JIS G 3125** 高耐候性圧延鋼材
- ⑤ **JIS G 3133** ほうろう用脱炭鋼板及び鋼帯
- ⑥ **JIS M 8250** 鉄鉱石—分析用試料の吸湿水定量方法—重量法、カールフィッシャー滴定法及び乾燥減量法（追補）
- ⑦ **JIS M 8708** 鉄鉱石—サンプリング、試料調製及び測定の精度を確認する実験方法
- ⑧ **JIS G 4303** ステンレス鋼棒
- ⑨ **JIS G 4304** 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
- ⑩ **JIS G 4305** 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
- ⑪ **JIS Z 3197** はんだ付用フラックス試験方法
- ⑫ **JIS Z 3221** ステンレス鋼被覆アーク溶接棒
- ⑬ **JIS Z 3323** ステンレス鋼アーク溶接フラックス入りワイヤ及び溶加棒
- ⑭ **JIS Z 3950** 溶接作業環境における浮遊粉じん濃度測定方法

### 4. 委員構成

委員長：木村（物質・材料研究機構）

委員：山口（九州工業大学）、廣本（物質・材料研究機構）、寺澤（鉄鋼連盟）、須山（日本ファインセラミックス協会）、天谷（日本アルミニウム協会）、河村（日本マグネシウム協会）、岩崎（ステンレス協会）、組田（日本建設業連合会）、吉田（建材試験センター）、井上（日本産業機械工業会）、水沼（日本溶接協会）

事務局：内藤、中畑、汗部、武田、大谷（経済産業省）

鉄鋼連盟からの説明者：木村、楠野、井田、坂橋、越川

### 5. 議事概要

## **5.1 JIS 改正案の審議**

木村委員長の議事進行により、審議が進められた。全 14 件が一部修正を行うことを条件に承認された。

## **5.2 今後の開催予定**

次回（第 27 回）委員会は、3 月 19 日に行う予定。

## 第 27 回 金属・無機材料技術専門委員会報告

今年度、第 5 回目の委員会が Web 会議形式により開催された。

鉄鋼、非鉄、窯業及び溶接関連の JIS 改正 13 件（内、鉄鋼連盟から 11 件）が審議され、全 13 件が承認された。

1. 日時：2021 年 3 月 19 日（金）10:00～11:20

2. 場所：Web 会議

### 3. 議題

3.1 制定案の審議：5 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① JIS G 1232-1 鉄及び鋼－ジルコニウム定量方法－第 1 部：キシレノールオレンジ吸光光度法
- ② JIS G 1232-2 鉄及び鋼－ジルコニウム定量方法－第 2 部：ふっ化物共沈分離キシレノールオレンジ吸光光度法
- ③ JIS G 1235-1 鉄及び鋼－アンチモン定量方法－第 1 部：塩化物抽出分離ローダミン B 吸光光度法
- ④ JIS G 1235-2 鉄及び鋼－アンチモン定量方法－第 2 部：ブリリアントグリーン抽出分離吸光光度法
- ⑤ JIS Z 2257 十字形試験片を用いる金属板材の二軸引張試験方法

3.2 改正案の審議：6 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① JIS G 3474 鉄塔用高張力鋼管
- ② JIS G 3475 建築構造用炭素鋼鋼管
- ③ JIS G 3478 一般機械構造用炭素鋼鋼管
- ④ JIS G 3479 焼入性を保証した機械構造用鋼管
- ⑤ JIS M 8216 鉄鉱石－りん定量方法－モリブドリン酸青吸光光度法
- ⑥ JIS G 3551 溶接金網及び鉄筋格子

3.3 廃止案の審議：2 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① JIS G 1232 鋼中のジルコニウム定量方法
- ② JIS G 1235 鉄及び鋼中のアンチモン定量方法

### 4. 委員構成

委員長：木村（物質・材料研究機構）

委員：天谷（日本アルミニウム協会）、磯（日本電気工業会）、井上（日本産業機械工業会）、岩崎（ステンレス協会）、河合（自動車技術会）、河村（日本マグネシウム協会）、組田（日本建設業連合会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、寺澤（日本鉄鋼連盟）、

水沼（日本溶接協会）山口（九州工業大学）、吉田（建材試験センター）  
事務局：内藤、中畑、汗部、武田、大谷（経済産業省）  
鉄鋼連盟からの説明者：井田、越川  
欠席委員：須山（日本ファインセラミックス協会）、廣本（物質・材料研究機構）

## **5. 議事概要**

### **5.1 JIS 改正案の審議**

木村委員長の議事進行により、審議が進められた。全 13 件が一部修正を行うことを条件に承認された。

### **5.2 今後の開催予定**

次回（第 28 回）委員会は、4 月～5 月に行う予定。

## 第 28 回 金属・無機材料技術専門委員会報告

今年度、第 1 回目の委員会が Web 会議形式により開催された。

鉄鋼、非鉄、窯業及び溶接関連の JIS 制定 3 件、改正 5 件（内、鉄鋼連盟から 5 件）及び廃止 3 件が審議され、全 11 件が承認された。

1. 日時：2021 年 6 月 30 日（水）14:00～16:15

2. 場所：Web 会議

### 3. 議題

3.1 制定案の審議：3 件

- ① **JIS Z 3336** マグネシウム合金の溶加棒及び溶接ワイヤ
- ② **JIS Z 3609-1** 摩擦かくはん点接合－アルミニウム－第 1 部：用語及び接合方法
- ③ **JIS Z 3609-2** 摩擦かくはん点接合－アルミニウム－第 2 部：品質要求事項、接合施工要領及び接合要員

3.2 改正案の審議：5 件（下線：鉄鋼連盟案件）

- ① **JIS G 3127** 低温圧力容器用ニッケル鋼鋼板
- ② **JIS G 3128** 溶接構造用高降伏点鋼板
- ③ **JIS G 3140** 橋梁用高降伏点鋼板
- ④ **JIS G 3199** 鋼板、平鋼及び形鋼の厚さ方向特性
- ⑤ **JIS G 4110** 高温圧力容器用高強度クロムモリブデン鋼及びクロムモリブデンバナジウム鋼鋼板

3.3 廃止案の審議：3 件

- ① **JIS H 0522** アルミニウム鋳物の放射線透過試験方法及び透過写真の等級分類方法
- ② **JIS H 4090** アルミニウム及びアルミニウム合金溶接管
- ③ **JIS Z 2273** 金属材料の疲れ試験方法通則

### 4. 委員構成

委員長：木村（物質・材料研究機構）

委員：天谷（日本アルミニウム協会）、河合（自動車技術会）磯（日本電気工業会）、井上（日本産業機械工業会）、岩崎（ステンレス協会）、河村（日本マグネシウム協会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、須山（日本ファインセラミックス協会）、寺澤（日本鉄鋼連盟）、廣本（物質・材料研究機構）、水沼（日本溶接協会）、山口（九州工業大学）、吉田（建材試験センター）

事務局：内藤、中畑、小川、武田、伊藤、大谷（経済産業省）

鉄鋼連盟からの説明者：井田、越川  
欠席委員：組田（日本建設業連合会）

## **5. 議事概要**

### **5.1 JIS 改正案の審議**

木村委員長の議事進行により、審議が進められた。全 11 件が一部修正を行うことを条件に承認された。

### **5.2 今後の開催予定**

次回（第 29 回）委員会は、9～10 月に行う予定。

（文責：寺澤）